

■使用評価マニュアル：北九州市建築物総合環境性能評価制度マニュアル

■使用評価ソフト：CASBEE北九州\_2014(v2.0)

## 1 建物概要

建物名称	地域密着型特別養護老人ホーム「社の家」別館 増築工事	BEE	0.7	BEEランク	B-	★★
------	----------------------------	-----	-----	--------	----	----

## 2 重点項目への取組み度

重点項目	得点 <sup>※</sup> /満点	取組み度	評価
1 循環型社会への貢献	3.0 / 5		ふつう
2 地球温暖化対策の推進	3.0 / 5		ふつう
3 豊かな自然環境の確保	2.3 / 5		がんばろう
4 高齢社会への対応	4.0 / 5		よい

※ 対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)

評価 凡例	よい 4 点以上	ふつう 3 点以上	がんばろう 3 点未満
-------	----------------	-----------------	-------------------

## 3 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

使用CASBEE評価マニュアル:	CASBEE-建築(新築) 2016年版	使用CASBEE評価ソフト:	CASBEE-BD_NC_2016(v.2.1)
<b>1 循環型社会への貢献</b>		スコア平均 3.0	
リサイクルに関する配慮 LR2/ 2 非再生性資源の使用量削減	スコア 3.2	長寿命化に関する配慮 Q2/ 2.2 部品・部材の耐用年数 Q2/ 3 対応性・更新性	スコア 3.2 スコア 2.6
<自由記述>		<自由記述>	
<b>2 地球温暖化対策の推進</b>		スコア平均 3.0	
省エネ・省資源に関する配慮 LR3/ 1 地球温暖化への配慮	スコア 3	節水に関する配慮 LR2/ 1.1 節水	スコア 3
<自由記述>		<自由記述>	
<b>3 豊かな自然環境の確保</b>		スコア平均 2.3	
生態系保全に関する配慮 Q3/ 1 生物環境の保全と創出	スコア 1	緑化に関する配慮 Q3/ 3.2 敷地内温熱環境の向上 LR3/ 2.2 温熱環境悪化の改善	スコア 3 スコア 3
<自由記述>		<自由記述>	
<b>4 高齢社会への対応</b>		スコア平均 4.0	
バリアフリーに関する配慮 Q2/ 1.1.3 バリアフリー計画	スコア 4	<b>主な指標</b> 建物の外皮性能 (BPI評価) 非住宅:BPI値、住宅:省エネ等級 0.56 建物の一次エネルギー消費量 (BEI評価) 非住宅:BEI値、住宅: - 0.97 外構緑化指数 15.43 % 建物緑化指数 0 %	
<自由記述>			

:入力欄

:CASBEE-建築(新築)の採点結果から転記してください。

# CASBEE®-建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	地域密着型特別養護老人ホーム「本郷」	階数	地上3F
建設地	福岡県北九州市八幡西区大字馬場	構造	S造
用途地域	指定なし	平均居住人員	50人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	病院,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年2月 竣工	評価の実施日	2019年5月31日
敷地面積	13,563㎡	作成者	柳田
建築面積	816㎡	確認日	2019年6月1日
延床面積	2,289㎡	確認者	橋本



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.6** ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

Qのスコア = 2.3

##### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.2

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

##### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.0

#### LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.0

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.8

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 既存敷地は、周辺を緑豊かな山並みに囲まれた静かな山郷に立地しております。今回増築に当たっては、入居者へ西側の素晴らしい眺望を自然と提供出来、尚且つ身近な緑と対話できる配置並びに既存建物への圧迫感の無い形態を考慮しました。		<b>その他</b> 無し
<b>Q1 室内環境</b> ・F☆☆☆☆建材を使用。 ・全館禁煙とし、施設内の空気質環境に配慮。	<b>Q2 サービス性能</b> ・単純明快な動線計画と共用室配置。 ・既存棟との活用度を向上する、渡廊下の設置	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> ・計画上、駐車関係スペース及びアプローチスペースを除いて非舗装対応による遮熱環境に配慮しました。
<b>LR1 エネルギー</b> ・一部の非居室を除いて、ペアガラスを採用し遮熱性を高めた。 ・西側居室については、熱線反射ガラス+UVカットフィルムを採用し西日対策及び遮熱性能の向上に努めました。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ・断熱材は、全てノンフロン。	<b>LR3 敷地外環境</b> ・増築に当たり、既存を含めた指導よりの歩車道分離と誘導計画に努めた。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

**CASBEE-建築(新築)2016年版**  
 地域密着型特別養護老人ホーム「社の家」別館 増築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄			評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
	<b>Q 建築物の環境品質</b>								
<b>Q1 室内環境</b>					0.38		-		<b>2.2</b>
<b>1 音環境</b>				<b>2.5</b>	0.15	<b>2.2</b>	1.00		<b>2.4</b>
1.1 室内騒音レベル	【待合室】共同生活室:50dB(A) 【病室】居室A【診察室】医務室:40dB(A)			<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.40		
1.2 遮音				<b>2.7</b>	0.40	<b>2.2</b>	0.40		
1 開口部遮音性能	T-2(図面:A-04)			5.0	0.45	5.0	0.30		
2 界壁遮音性能				1.0	0.55	1.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	1.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	1.0	0.20		
1.3 吸音				<b>1.0</b>	0.20	<b>1.0</b>	0.20		
<b>2 温熱環境</b>				<b>1.0</b>	0.35	<b>1.0</b>	1.00		<b>1.0</b>
2.1 室温制御				<b>1.0</b>	0.50	<b>1.0</b>	0.50		
1 室温				1.0	0.38	1.0	0.57		
2 外皮性能				1.0	0.25	1.0	0.43		
3 ゾーン別制御性				1.0	0.38	-	-		
2.2 湿度制御				<b>1.0</b>	0.20	<b>1.0</b>	0.20		
2.3 空調方式				1.0	0.30	1.0	0.30		
<b>3 光・視環境</b>				<b>2.7</b>	0.25	<b>2.7</b>	1.00		<b>2.7</b>
3.1 昼光利用				<b>4.0</b>	0.30	<b>4.2</b>	0.30		
1 昼光率	【待合室】3階 共同生活室(73.12㎡):2.1%、 【病室】居室A:3.2% (資料:計算書)			4.0	0.60	5.0	0.60		
2 方位別開口				-	-	-	-		
3 昼光利用設備	3階エレベーターホール部分:トップライト(図面:A-42)			4.0	0.40	3.0	0.40		
3.2 グレア対策				<b>1.0</b>	0.30	<b>1.0</b>	0.30		
1 昼光制御				1.0	1.00	1.0	1.00		
3.3 照度	一般的な照度			<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	0.15		
3.4 照明制御	照明器具などで調整可能			<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	0.25		
<b>4 空気質環境</b>				<b>3.5</b>	0.25	<b>3.5</b>	1.00		<b>3.5</b>
4.1 発生源対策				<b>4.0</b>	0.50	<b>4.0</b>	0.63		
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆(図面:A-16,17)			4.0	1.00	4.0	1.00		
4.2 換気				<b>2.0</b>	0.30	<b>2.6</b>	0.38		
1 換気量	中央管理方式ではない			3.0	0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能	【病室】居室A:0.086>0.066(1/15)			-	-	4.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮				1.0	0.50	1.0	0.33		
4.3 運用管理				<b>4.7</b>	0.20	-	-		
1 CO <sub>2</sub> の監視	必要最低限の記録			3.0	0.12	-	-		
2 喫煙の制御	全館禁煙(図面:A-21~23、A-06)			5.0	0.88	-	-		
<b>Q2 サービス性能</b>				-	0.30	-	-		<b>2.8</b>
<b>1 機能性</b>				<b>2.7</b>	0.40	<b>3.8</b>	1.00		<b>2.9</b>
1.1 機能性・使いやすさ				<b>4.0</b>	0.40	<b>5.0</b>	0.60		
1 広さ・収納性	【病室】居室A(個室):15.6㎡(図面:A-15)			-	-	5.0	1.00		
2 高度情報通信設備対応				-	-	2.0	-		
3 バリアフリー計画	建築物移動等円滑化基準チェックリスト、 建築物移動等円滑化誘導基準チェックリストの半分以上クリア			4.0	1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性				<b>1.1</b>	0.30	<b>2.0</b>	0.40		
1 広さ感・景観	【病室】居室A:2.45m			3.0	0.09	3.0	0.50		
2 リフレッシュスペース				-	-	-	-		
3 内装計画	(資料:内装計画)			1.0	0.91	1.0	0.50		
1.3 維持管理				<b>2.5</b>	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計	①②⑤防汚性、異なる床材を接近させない(ビニールクロス貼り) ④ホコリの溜まりにくい設計(天棚) (図面:A-46) ⑩防錆対策(図面:A-03,04)			3.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保	①倉庫(図面:A-23)②汚物処理室(図面:A-22)			2.0	0.50	-	-		
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>2.9</b>	0.30	-	-		<b>2.9</b>
2.1 耐震・免震・制震・制振				<b>3.0</b>	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	建築基準法に定められた耐震性			3.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能	導入していない			3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				<b>3.2</b>	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数	等級1相当			3.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	ビニールクロス(10年)			3.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	亜鉛鉄板を使用			3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水:B、給湯:C、排水:B(図面:P-05)			5.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔	パッケージエアコン(15年)			3.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性				<b>2.6</b>	0.20	-	-		
1 空調・換気設備	中央管理方式ではない			3.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備	グリーン購入法適合品(資料:グリーン購入法適合品リスト)			2.0	0.20	-	-		

	3	電気設備	発電機(図面:A-06)、浸水の危険なし	3.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法	耐震クラスB	3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備	浸水の危険なし	2.0	0.20	-	-	
<b>3</b>	<b>対応性・更新性</b>			<b>2.6</b>	<b>0.30</b>	<b>2.6</b>	<b>1.00</b>	<b>2.6</b>
	<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>2.2</b>	<b>0.30</b>	<b>2.2</b>	<b>0.50</b>	
	1	階高のゆとり		1.0	0.60	1.0	0.60	
	2	空間の形状・自由さ	0.1 ≤ 0.24 < 0.3	4.0	0.40	4.0	0.40	
	<b>3.2 荷重のゆとり</b>			<b>3.0</b>	<b>0.30</b>	<b>3.0</b>	<b>0.50</b>	
	<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>2.6</b>	<b>0.40</b>			
	1	空調配管の更新性	中央管理方式ではない	3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性	仕上げ材を痛めることなく修繕ができる	3.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性	構造部材を痛めることなく更新・修繕ができる	3.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性	構造部材を痛めることなく更新・修繕ができる	3.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性		1.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
<b>Q3</b>	<b>室外環境(敷地内)</b>			<b>-</b>	<b>0.32</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>2.0</b>
	<b>1 生物環境の保全と創出</b>			<b>1.0</b>	<b>0.30</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>1.0</b>
	外構緑化指数:15.43%(資料:計算書、図面:A-06)							
	<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>			<b>2.0</b>	<b>0.40</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>2.0</b>
	緑地							
	<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>3.0</b>	<b>0.30</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>3.0</b>
	<b>3.1 地域性への配慮、快適性の向上</b>			<b>3.0</b>	<b>0.50</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	
	石庭、花壇、メッシュフェンス							
	<b>3.2 敷地内温熱環境の向上</b>			<b>3.0</b>	<b>0.50</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	
	空地率:61.8%(資料:計算書) 緑被率9.53%+水被率2.06% 舗装面積率:7.3%(資料:計算書、図面:A-06)							
<b>LR</b>	<b>建築物の環境負荷低減性</b>			<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>3.0</b>
<b>LR1</b>	<b>エネルギー</b>			<b>-</b>	<b>0.40</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>2.8</b>
	<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>			<b>5.0</b>	<b>0.15</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>5.0</b>
	BPI <sub>m</sub> =0.56							
	<b>2 自然エネルギー利用</b>			<b>4.0</b>	<b>0.11</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>4.0</b>
	3階エレベーターホール部分:トップライト(図面:A-42)							
	<b>3 設備システムの高効率化</b>			<b>2.1</b>	<b>0.53</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>2.1</b>
	[BEI][BEI <sub>m</sub> ] = 0.97							
	<b>4 効率的運用</b>			<b>2.5</b>	<b>0.21</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>2.5</b>
	集合住宅以外の評価			<b>2.5</b>	<b>1.00</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	
	4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制		2.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価							
	4.1	モニタリング						
	4.2	運用管理体制						
<b>LR2</b>	<b>資源・マテリアル</b>			<b>-</b>	<b>0.30</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>3.2</b>
	<b>1 水資源保護</b>			<b>3.0</b>	<b>0.20</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>3.0</b>
	<b>1.1 節水</b>			<b>3.0</b>	<b>0.40</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	
	自動水栓など節水機能(図面:P-01、P-06)							
	<b>1.2 雨水利用・雑排水等の利用</b>			<b>3.0</b>	<b>0.60</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
	<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>3.2</b>	<b>0.60</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>3.2</b>
	<b>2.1 材料使用量の削減</b>			<b>2.0</b>	<b>0.10</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	
	<b>2.2 既存建築躯体等の継続使用</b>			<b>3.0</b>	<b>0.20</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	
	<b>2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用</b>			<b>3.0</b>	<b>0.20</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	
	-							
	<b>2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用</b>			<b>3.0</b>	<b>0.20</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	
	再生クラッシュラン							
	<b>2.5 持続可能な森林から産出された木材</b>			<b>2.0</b>	<b>0.10</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	
	<b>2.6 部材の再利用可能性向上への取組み</b>			<b>5.0</b>	<b>0.20</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	
	内装材と設備が錯綜せず、容易に取外し可能(LGST地)、UB使用							
	<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>3.7</b>	<b>0.20</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>3.7</b>
	<b>3.1 有害物質を含まない材料の使用</b>			<b>3.0</b>	<b>0.30</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	
	<b>3.2 フロン・ハロンの回避</b>			<b>4.0</b>	<b>0.70</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	
	1	消火剤		-	-	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)	グラスウール断熱材(ノンフロン)(図面:A-16)	5.0	0.50	-	-	
	3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
<b>LR3</b>	<b>敷地外環境</b>			<b>-</b>	<b>0.30</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>3.1</b>
	<b>1 地球温暖化への配慮</b>			<b>3.0</b>	<b>0.33</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>3.0</b>
	<b>2 地域環境への配慮</b>			<b>3.0</b>	<b>0.33</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>3.0</b>
	<b>2.1 大気汚染防止</b>			<b>3.0</b>	<b>0.25</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	
	<b>2.2 温熱環境悪化の改善</b>			<b>3.0</b>	<b>0.50</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	
	気象データ(資料:気象データ(八幡)) 見付面積比(%):29.29 隣棟間隔指標(m):4.24							
	<b>2.3 地域インフラへの負荷抑制</b>			<b>3.2</b>	<b>0.25</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	
	1	雨水排水負荷低減	調整池(図面:A-06)	4.0	0.25	-	-	
	2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	3	交通負荷抑制	図面:A-06	3.0	0.25	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制	ストックスペース・分別回収容器・ビン、缶の減量化対策の計画	3.0	0.25	-	-	
	<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>3.2</b>	<b>0.33</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>3.2</b>
	<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>			<b>3.0</b>	<b>0.40</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	
	1	騒音		3.0	0.33	-	-	
	2	振動		3.0	0.33	-	-	
	3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
	<b>3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制</b>			<b>3.0</b>	<b>0.40</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	
	1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制						
	3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
	<b>3.3 光害の抑制</b>			<b>4.4</b>	<b>0.20</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策ガイドライン(屋外・広告物)の取扱いを満足、広告物照明な	5.0	0.70	-	-	
	2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	